

～ 平成 22 年国勢調査 移動人口の男女・年齢等集計結果（概要）～

平成 24 年 2 月 1 日

移動の概況

- ・ 5 年前の常住地からの移動状況（「5 年前には どこに住んでいましたか」の項目で把握）は、三重県への転入が 99,251 人（うち、他県から 88,494 人、国外から 10,757 人）、転出が 88,200 人で、差し引き 11,051 人の転入超過
- ・ 男女別にみると、男は転入が 57,303 人（うち、他県から 52,205 人、国外から 5,098 人）、転出が 49,017 人で差し引き 8,286 人の転入超過
- ・ 女は転入が 41,948 人（うち、他県から 36,289 人、国外から 5,659 人）、転出が 39,183 人、差し引き 2,765 人の転入超過

（参考）平成 22 年国勢調査の三重県人口 1,854,724 人（男 903,398 人、女 951,326 人）
平成 17 年国勢調査の 1,866,963 人から 12,239 人の減

三重県への転入者が多い都道府県

- ・ 転入者の多い都道府県（転入元）を見ると、愛知県 21,582 人、大阪府 9,530 人、東京都 4,836 人、神奈川県 4,157 人、岐阜県 4,045 人と続く
- ・ 男女別にみると、男は愛知県 12,079 人、大阪府 5,402 人、東京都 2,954 人、神奈川県 2,658 人、奈良県 2,298 人と続き、女は愛知県 9,503 人、大阪府 4,128 人、東京都 1,882 人、岐阜県 1,785 人、奈良県 1,713 人と続く
- ・ 転入超過は、奈良県 1,273 人、岩手県 873 人、岐阜県 653 人、広島県 590 人、福岡県 471 人の順

三重県からの転出者が多い都道府県

- ・ 転出者の多い都道府県（転出先）を見ると、愛知県 26,739 人、大阪府 9,878 人、東京都 5,766 人、神奈川県 4,322 人、京都府 3,528 人と続く
- ・ 男女別にみると、男は愛知県 14,468 人、大阪府 5,171 人、東京都 3,204 人、神奈川県 2,494 人、岐阜県 1,885 人と続き、女は愛知県 12,271 人、大阪府 4,707 人、東京都 2,562 人、神奈川県 1,828 人、京都府 1,727 人と続く
- ・ 転出超過は、愛知県 5,157 人、東京都 930 人、京都府 604 人、大阪府 348 人、滋賀県 288 人の順

外国人の転入状況

- ・ 国外からの転入者 10,757 人のうち、外国人は 8,315 人 ※無国籍及び国名「不詳」を含む
- ・ 国籍の内訳は、中国が 4,279 人（51.5%）で最も多く、ブラジルが 1,189 人（14.3%）、フィリピンが 872 人（10.5%）と続く
- ・ 男女の内訳は男 3,747 人、女 4,568 人で、中国は男 1,520 人、女 2,759 人、ブラジルは男 644 人、女 545 人、フィリピンは男 321 人、女 551 人

地域別の状況

- ・ 地域別に見ると、転入は東海地方から 28,884 人、近畿圏*から 24,135 人、東京圏*から 13,678 人
- ・ 転出は東海地方へ 33,160 人、近畿圏へ 23,437 人、東京圏へ 14,805 人
- ・ 東海地方は 4,276 人の転出超過、近畿圏は 698 人の転入超過、東京圏は 1,127 人の転出超過
- ・ 東海地方(主に愛知県)との間の移動が最も多く、東京圏(主として東京都、神奈川県)よりも近畿圏(主に大阪府)との間の移動の方が多い

※ 東海地方の数値は、愛知県、岐阜県、静岡県を集計したもの

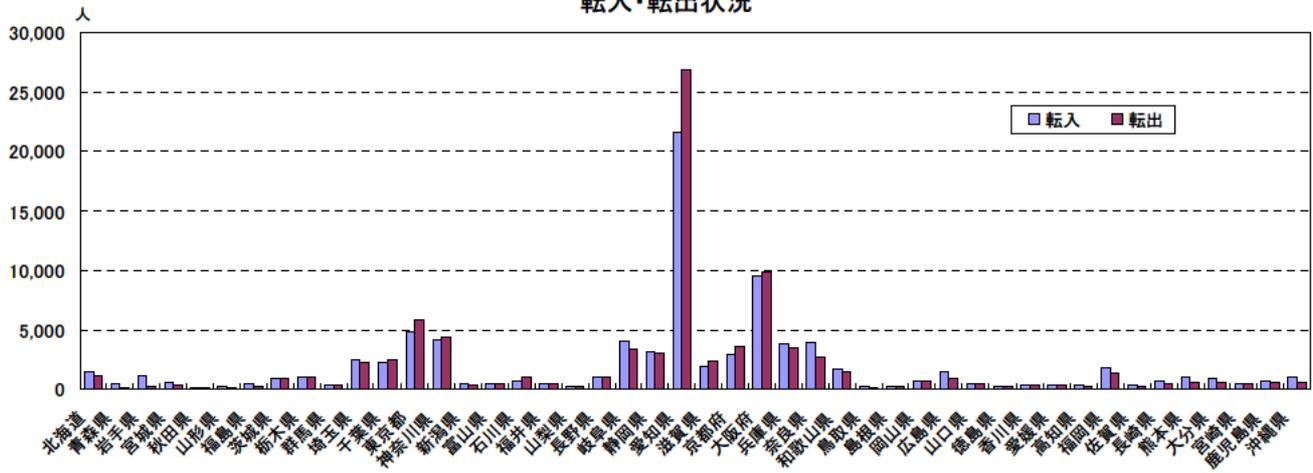
近畿圏の数値は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県を集計したもの

東京圏の数値は、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県を集計したもの

年齢別の状況

- ・ 年齢別に見ると、転入は 20～24 歳から 35～39 歳までの間が 1 万人以上で、中でも 25～29 歳が最も多く 16,375 人
- ・ 転出は 20～24 歳から 30～34 歳までの間が 1 万人以上で、中でも 20～24 歳が最も多く 17,342 人
- ・ 15～19 歳、20～24 歳及び 75～79 歳以降が転出超過で、それ以外は転入超過

転入・転出状況



年齢5歳階級別移動状況

